

朝日庄内

ふれあいの風

第 6 号

平成19年1月18日

発行

朝日庄内森林環境保全
ふれあいセンター

新しい年を迎えて

所長 小向 克之



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族とともに健やかな新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨シーズンの冬は大雪で、師走の内から根雪となり、屋根の雪下ろしを行ったと聞いておりましたが、今シーズンは12月に降雪があったものの、屋根の雪下ろしとまではいかず、雪の少ない新年を迎えることができました。出来れば昨シーズンのような大雪にならず、春を迎えたいと思っている方は、私ばかりではないと思います。

さて、旧年中は、スノーモービル乗り入れ実態調査など朝日山地森林生態系保護地域の保全管理の取組、クロマツの植樹や環境美化活動など庄内海岸林の保全活動、緑の回廊内にある最上川スキー場跡地を森林に再生させ、緑の回廊としての機能回復を目指すための基本的な考え方の取りまとめなど、様々な活動に取り組んできました。中でも森林環境教育の取組の一つとして「朝日自然塾」を立ち上げることができたのは大きな成果ではなかったかと思います。

国有林におきましても、昨年9月に森林・林業基本計画が見直されるなど、森林環境教育への取組がますます重要視されてきています。当センターでも、生態系保護地域の保全管理や庄内海岸林の保全活動などに取り組むとともに、森林生態系保護地域とその周辺をフィールドとした朝日自然塾の取組、万里の松原に代表される庄内海岸林をフィールドとした環境教育、最上川スキー場跡地の森林再生の取組と連携した環

境教育など、当センターの活動フィールドの特徴を活かした森林環境教育に取り組みたいと思います。

最後になりますが、これまで同様、皆様のご支援、ご協力をお願いし、また、この1年皆様にとってよい年でありますようご祈念申し上げまして新年のあいさつといたします。

秋季巡視員会議

懸案事項に一定の方向付け

秋季巡視員会議は12月9日鶴岡市下名川「すまいる」において、巡視員及び関係者37名が出席して開催されました。

会議では懸案事項である、歩道（ショートカット）問題については、森林生態系への影響を考え、ショートカット道の通行を遠慮してもらう看板を設置する。

大朝日岳周辺における禁止されているテント設営問題については、関係機関が連携してパトロールの強化や月刊山岳誌への広告依頼に取り組む。

スノーモービル乗り入れ問題については、自粛を要請する立て看板の設置と実態調査を継続する。など一定の方向付けを行いました。

また、巡視結果報告として出された、「マナー問題」、「歩道整備」、「保全管理」に関する事項についても活発な意見・情報交換を行い、合意できた部分については、今後の巡視活動へ反映させていくことや、原種イワナの生息環境など、溪流（川）についても森林生態系として一緒に考えていかなければならないとの認識で一致しました。



巡視員会議「すまいる」

第3回「土湯の森」自然再生検討会

基本構想まとまる



旧最上川スキー場跡地の森林再生の基本構想が、10月24日に開催された第3回鳥海朝日飯豊吾妻緑の回廊（土湯の森）自然

再生検討会で取りまとめられました。

『基本構想』では、自然の回復力を活用して森林再生することを原則とし、市民参加による活動とも連携して、緑の回廊としての機能回復を目指すこととしています。

取組に当たり、比較的稚樹の発生が多い区域は自然の推移に委ねる「自然推移ゾーン」、稚樹の発生が少ない区域は、試験的に人の手を加える「森林再生ゾーン」としています。また、取組の有効性を検証するための植生の推移のモニタリングや、自然環境学習の場としても活用することとしています。

今後は教育関係者やNPO等を加えた「自然再生協議会」を発足させ、具体的な取組の実実施計画を策定することとしています。



ウッドワッショウ・フェスティバル

ふれあいセンターの活動を紹介

「木の温もり」、「木の柔らかさ」など「木」の持つ良さを直接肌で知る機会をつくり、その社会的重要性をPRするウッドフェスティバルが、庄内地域の林業・木材関係団体等の参加により開催されました。



今年、10月に

鶴岡市小真木原公園、11月に酒田市平田タウンセンターで行われ、ふれあいセンターも参加しました。



当センターは、朝日山地森林生態系保護地域、最上川スキー場跡地、庄内海岸林、朝日自然塾などでの活動をパネル展示して、来場者の方に紹介しました。

また、生態系保護地域の巡視員の協力を得て取水した朝日連峰の銘水や鳥海山の麓の銘水4種類を来場者の方に試飲していただきました。試飲された方の中には、取水には大変苦勞のかかることを知り、貴重な水に感激していました。

今回は天気にも恵まれ、二つの会場でおよそ29千人の来場がありました。当センターにも1千人を超える地域の方が訪れ、これまでの活動内容を紹介することができたものと思います。

合同パトロール

山岳・溪流4コースに30名参加

平成18年度合同パトロールは、7月23日に祝瓶山コースと朝日川溪流コース。7月29日～30日は日暮沢～大朝日岳コースと大鳥池コースに分かれて実施しました。

各コースとも入山者へのマナー指導と投棄ゴミの回収を行いながら、歩道や保安全管理に係わる事項について点検を行い、結果については秋季巡視員会議へ報告しております。



大朝日岳コース



祝瓶山コース



大鳥池コース



溪流コース

朝日自然塾 発足

自然と人間のかかわりをテーマに森林環境教育



挨拶する福田局長

朝日山地森林生態系保護地域及びその周辺地域において、体験活動型森林環境教育を推進する「朝日自然塾」の発足式が、8月27日（日）西川町大井沢の「セミナーハウス」で行われました。

朝日自然塾は東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域管理委員会の構成団体等10団体により運営されるもので、各プログラムの講師は関係する団体のメンバーが努めることとなります。またそれぞれの団体の代表者でつくる連絡協議会において、プログラムや参加費の決定、講師とスタッフの配置について調整を行うことになっています。

発足式では、東北森林管理局福田局長から「この朝日自然塾が関係団体と連携・協力し、すばらしい形で発展して頂きたい」との挨拶があり、引き続き、関係団体による協定書の調印が行われました。調印後協定団体を代表して、山形県溪流釣り協議会の齋藤会長から、「将来の森林環境保全を担う子供達に、精神的に高い経験を持って応援させて頂きます」と力強い挨拶を頂きました。また、来賓を代表して、朝日山地森林生態系保護地域管理委員会の浅沼座長、西川町の近松町長から支援のお言葉を頂きました。

最後に、朝日自然塾連絡協議会の事務局を担当する当ふれあいセンターの伊藤自然再生指導官から、今年度予定している小中学生の親子を対象とした5つのプログラム（別掲）を発表し、自然と人間とのかかわりなどをメインテーマとした、朝日自然塾がいよいよスタートすること



齋藤会長



浅沼座長



近松町長

となりました。



拠点施設「セミナーハウス」

協定団体

- 山形県山岳連盟
- 出羽三山の自然を守る会
- 小国の自然を守る会
- 山形県溪流釣り協議会
- 山形県内水面漁業協同組合連合会
- 山形県猟友会
- 鶴岡市朝日庁舎
- 西川町大井沢区
- 大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館
- 東北森林管理局
- 朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター（事務局）

朝日自然塾プログラム

第1回	イワナの生態と生息環境 9月9日（土）：朝日町朝日川
第2回	森と動物の冬支度を体感 9月23日（土）：鶴岡市大鳥池
第3回	古寺山登山と野鳥観察 10月14日（土）：大江町古寺山
第4回	紅葉のブナ林で森の働きを体感 10月21日（土）：小国町針生平
第5回	親子でかまくらづくりと親雪体験・マタギの話 3月3日（土）：西川町大井沢

【第1回・第2回プログラムの模様】



朝日川（イワナをゲット）



大鳥池（森の話）



朝日川（イワナの生態）



大鳥池伝説を聞く

浜中クロマツ林保育

ふれあいセンター主催



汗を流す参加者の皆さん

8月26日(土)に、酒田市浜中地区に所在する国有林で、浜中小学校6年生と父兄、教職員、浜中自治会、浜中

長寿会、酒田市職員及び庄内海岸のクロマツ林をたたえる会など約60人が、クロマツ林の下草刈りや除伐などの保育作業を行いました。

これは、最近、庄内海岸のクロマツ林が松くい虫などの被害を受けて、本数が減った箇所などにニセアカシアやツル類が侵入し、このままではクロマツ林の維持・保全に悪影響を与える恐れがあるため、日頃、クロマツ林から防風・防砂などの恵みを受けている地元の方達がクロマツ林を守り育て、次代に健全な姿で引き継ぐことを目的に行ったものです。

当日は、暑いなか、みんなが一生懸命に鎌を振るって、クロマツなどの稚樹が育ち



高山さんの話しを聞く

やすいようツルなどを刈り払いました。

無事に作業を終えた後、冷たい水やお茶などでのどを潤しながら、自分たちの刈り払ったクロマツ林の木陰で、同地区の歴史的財産であるクロマツ林の歴史などについて、「浜中の歴史を探る会」の高山勘之助さんから学びました。

もり 森林からの感謝状贈呈

万里の松原に親しむ会

11月21日(火)、秋田市において、「万里の松原に親しむ会」(酒田市、会長：三沢英一氏)へ、東北森林管理局長から「森林からの感謝状」が贈呈されました。

この感謝状は、当管内において民有林・国有林を通じてボランティアによる森林整備・林業体験などの諸活動をしている団体等に贈呈され

るものです。

同会は、「万里の松原」(酒田市街地の国有林・生活環境保全林)の区域やその周辺で、近くの小中高生と一緒に、広葉樹の植樹、下刈などの森林整備や環境美化活動を行ったり、周辺中学校と協力して老人ホームで「森の音楽祭」を開催するなど様々なボランティア活動に取り組んでおり、今回の表彰はこれらの実績が評価されたものです。

この歩みを着実に

万里の松原に親しむ会 三沢 英一

国有林を活動のフィールドにしている私達にとって、東北森林管理局長表彰は特別な思いがこみあげ、感慨深く喜び合いました。

万里の松原を少しでもきれいにしようと、20名余りの会員が一日毎に許可願いを出して作業をし、素朴な達成感を共にしたことを昨日のように思います。

そして、やれば出来る、もう少しがんばろうと、多くの人達、関係者に支えられての結果だと思えます。

この歩みを誇らしく思うと共に、着実に続けることで期待に応えたいと思っています。



会を代表して表彰を受ける三浦副会長

発行

東北森林管理局
朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合3番地
(鶴岡市朝日産業振興センター内)

TEL : 0235-58-1730 FAX : 0235-58-1731

E-mail : t_syounai_f@rinya.maff.go.jp

http://www.fureai-kokuyurin.jp